



12月 行事予定 ~

日	曜	内 容
1	木	ALT 交通安全県民運動~12/10
2	金	
5	月	朝会 委員会
6	火	
7	水	
8	木	長距離走大会⑤⑥ (雨天 : 金⑤⑥)
9	金	長距離走大会予備⑤⑥
12	月	朝会 キャリア教育講演会⑤ 学費振替
13	火	
14	水	個人懇談会 45分4時間授業・簡易清掃
15	木	個人懇談会 45分5時間授業・簡易清掃
16	金	個人懇談会 45分5時間授業・簡易清掃
19	月	
20	火	通学団会 16:05~
21	水	給食終了 球技大会⑤⑥
22	木	終業式
23	金	天皇誕生日(祝日)
26	月	冬休み ウインタースクール13:00~15:00
27	火	ウインタースクール13:00~15:00
28	水	仕事納め
29	木	年末休業
30	金	年末休業

~ 1月 行事予定 ~

日	曜	内 容
5	木	ウインタースクール13:00~15:00
6	金	始業式
10	火	給食開始 課題テスト 委員会

※ ①や⑥などは、授業時間を表します。

【時間の流れ・・・】

まだ小さかった子どものころを思い出してみると、1年たつのがとても遅く感じたことはないでしょうか。中1から中2もけっこう長かったが、小1から小2のほうがその何倍も長かったような気がしたことでしょう。これは「**年齢の相対性理論**」とも言うべき理論で、人の「**1年の時間感覚は、生きてきた年数を分母とする分数の大きさに等しい**」というものです。

赤ちゃんの1年は1/1年だが、中学生の1年は1/14年、老人の1年は1/70年、という具合に年をとるごとに1年の時間感覚は短くなっていくのです。

もう一つは「**集中力の相対性理論**」とも言うべき理論で、人の「**1時間の時間感覚は、そのときしていることへの集中力の大きさを分母とする分数の大きさに等しい**」ということです。ただし、集中力には単位はないので比較するのは難しいのですが、集中力を発揮している人は時間があっという間に過ぎたように感じ、集中できない人はだらだら長い時間を過ごしたように感じると思います。

座禅の達人は1時間を一瞬のごとく感じるそうです。ゲームに熱中していて、ふと気がつくと5時間もたっていた、なんていう経験ぐらひはあるのではないのでしょうか。

中学2年の残りの3か月という時間は、長いだろうか短いだろうか。有効に使えばかなり長い時間です。少なくとも大人の3か月よりはずいぶん長いはず。計算してみると3か月は1/4年だから、14歳の3か月は・・・

$(1/14 \times 1/4) \text{年} = (1/56) \text{年}$...ということになって、**56歳の人の1年と同じ長さということになる**。これは使い出がある。そして、大切なのは、その中の1時間1時間の使い方です。だらだら長く勉強したつもりになっているだけの人はいないだろうか。集中すると時間は短く感じるはず。つまり本当に長時間続けても勉強できるということになります。

そろそろ自分の進路にも目を向けはじめた中2のみなさん。今こそ、エンジン始動のときです。これまで日常の学習にまじめに取り組めなかった人、決してまだ遅くはありません。新しい年、2017年を迎え、心新たに学びはじめましょう。時間の流れは、自分しだいずいぶん長くすることができるものなのだから。

【個人懇談会について(保護者の方へ)】

12月14日(水)~16日(金)の3日間、2学期個人懇談会を行います。限られた時間のなか、懇談を充実したものにするため、ご家庭での様子や、特別に懇談したい内容などをまとめておいていただくとよいと思います。

2年生のこの時期、話題の中心にしたいのは、「それぞれの生徒が、自分の進路をどれだけ見据えて中学校生活を送っているか」ということでしょう。もちろん具体的に考えるのはもう少し先のことですが、必ずやってくる進路決定のときに向けて、どれだけ意識が向いているかを測っていく時期です。1年後の進路決定のために、今しなくてはならないことを確認する機会にしていたいただければと考えています。よろしくお願ひします。

《冬休み明けは、課題テストだ!!》

冬休みの課題を範囲として、課題テスト(5教科)を**1月10日(火)に実施します**。冬休みの課題の範囲は、1学期から2学期までの学習内容です。この課題を行うことは、自分の弱点を見つけ克服するよい機会にもなり

ます。短い休みですが、基礎・基本を確実に定着させるためにもしっかりと取り組みましょう。冬休み課題一覧表は、後日、配付します。